

令和7年9月8日

兵庫県丹波篠山地域における保全計画に基づく活動状況等の評価
(令和7年度第2回世界農業遺産等専門家会議)

1 評価

貴地域では、地域の農業遺産の保全活動が概ね適切に行われていることが確認できたため、今後も引き続き活動を維持されたい。

2 専門家会議による助言事項

更なる保全・活用に向け、以下の助言事項を参考として今後の保全活動に取り組むことが望ましい。

- (1) 今後とも黒大豆の耕作者の減少が見込まれる中で、家庭菜園レベルの小規模な農家から專業農家まで、規模の異なる農家全体で栽培面積の維持に取り組むことが望まれる。
- (2) これまでも保全活動への様々な者の巻き込みが行われているが、今後も関係人口の増加を含めた多様な者の巻き込みに取り組むことが望まれる。
- (3) 異常気象の頻発により栽培環境が厳しくなると見込まれる中、生産体制の強化や栽培技術の向上を図ること、また、黒大豆の優良種子の確保・保全について、サポート体制の充実を図ることが望まれる。
- (4) 本地域の特産物である黒大豆の付加価値向上や他産地との差別化、また消費者に対する認知度向上・意識変化のため、ロゴマークの活用をより一層促すことが望まれる。
- (5) 本地域はオーガニックビレッジ宣言をしており、また、消費者による有機農産物への関心が高まってきていることから、黒大豆に対する消費者の需要の変化に合わせた新商品の開発や販売方法が検討されることが望まれる。

(以上)